

## 7 - 6 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果(2005年5月～2005年10月) Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region(May, 2005-October, 2005)

産業技術総合研究所  
Geological Survey of Japan, AIST

### 1. 観測概要

産業技術総合研究所は長野県西部地域（王滝地域）、跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している（第1図）。王滝地域では2000年5月7日より歪、傾斜計が故障のため観測不可能となっている。

宮川：跡津川断層のロック部に位置する。深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計（1 Hz, 3成分速度計）を設置。また、深度256.78～267.66 mの滞水層にストレーナーを設置し、地下水位の計測も行っている。高周波での地震計の共振がないよう、計器を改良した。計器中に、歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

跡津川：跡津川断層のクリープ部に位置する。坑道内に深度約50mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計を設置。また、地下水位の計測も行っている。計器中に、歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

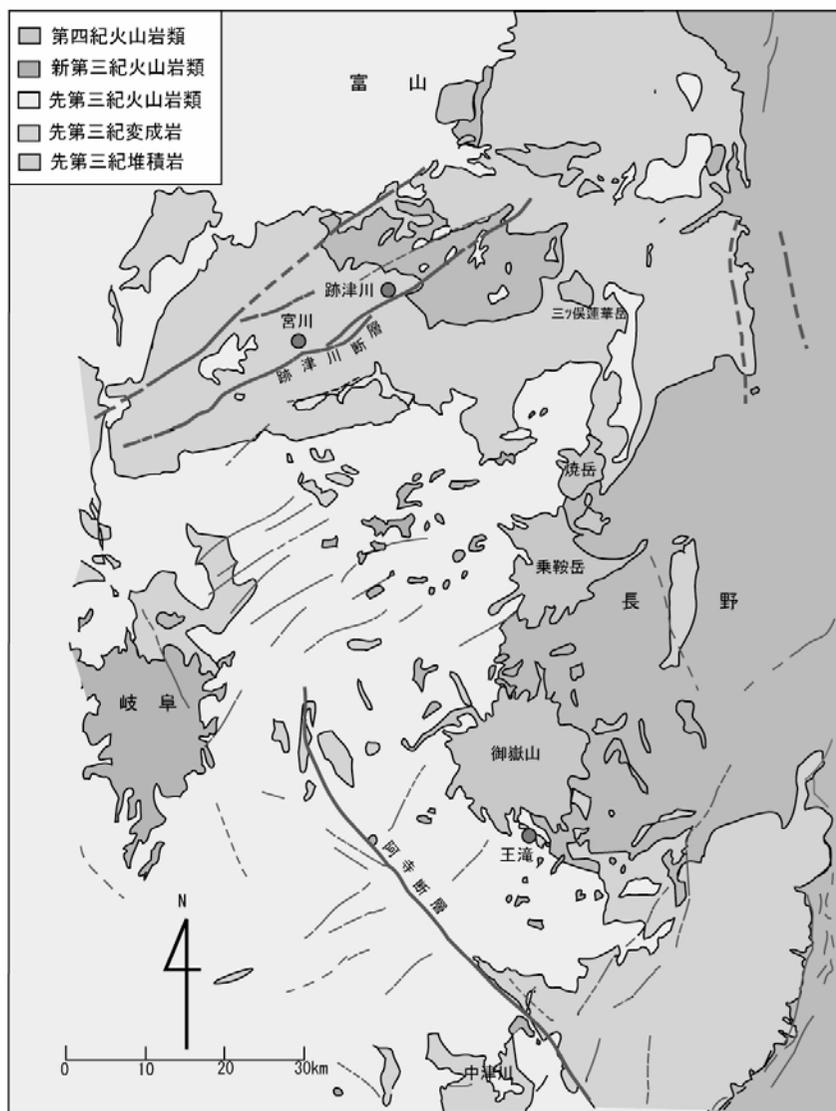
### 2. 観測結果概要

宮川（第2図）：水位、歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。7月1日、8月22日、9月5日、10月13日の降雨により歪計に異常変動が見られる。

跡津川（第3図）：水位、歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から数カ月周期の温度、歪の不安定な変動が続いている。

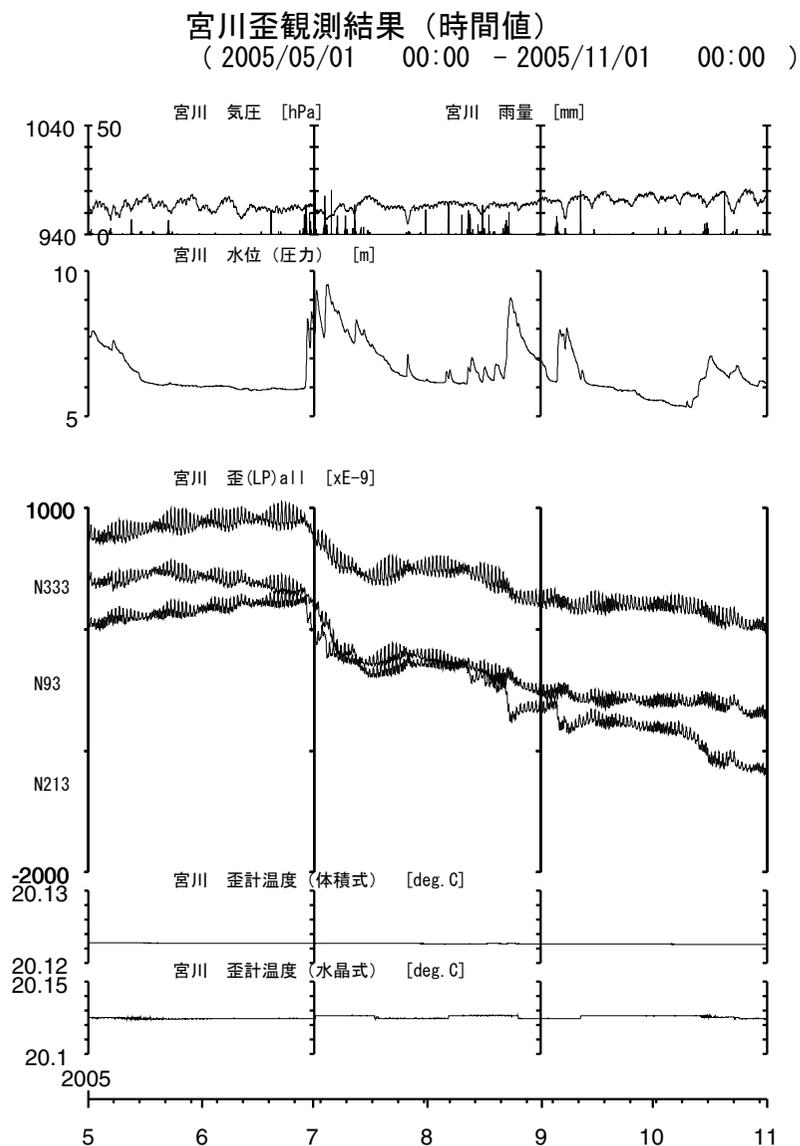
跡津川（第4図）：6年10ヶ月間の記録。2002年4月初旬から歪3成分で約 $1E-7$ /日の急速な伸び、歪計内の温度が約 $0.5\text{m}^{\circ}\text{C}$ /日で降下している。これ以後数カ月周期の温度、歪の不安定な変動が続いている。

（木口努，長郁夫，桑原保人）



第1図 長野県西部地域・王滝地域，跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測位置

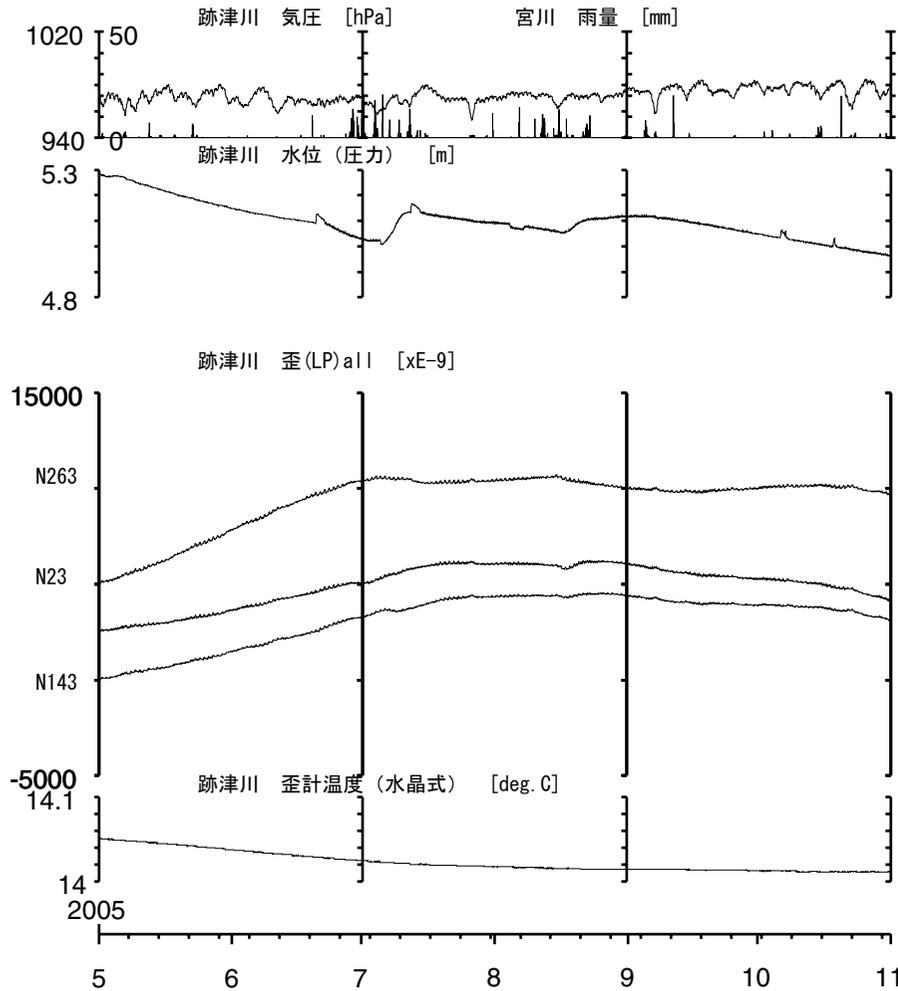
Fig.1 Location map of the observation boreholes at Ohtaki in Naganoken-Seibu region, Miyagawa and Atotsugawa at the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果（6カ月間）

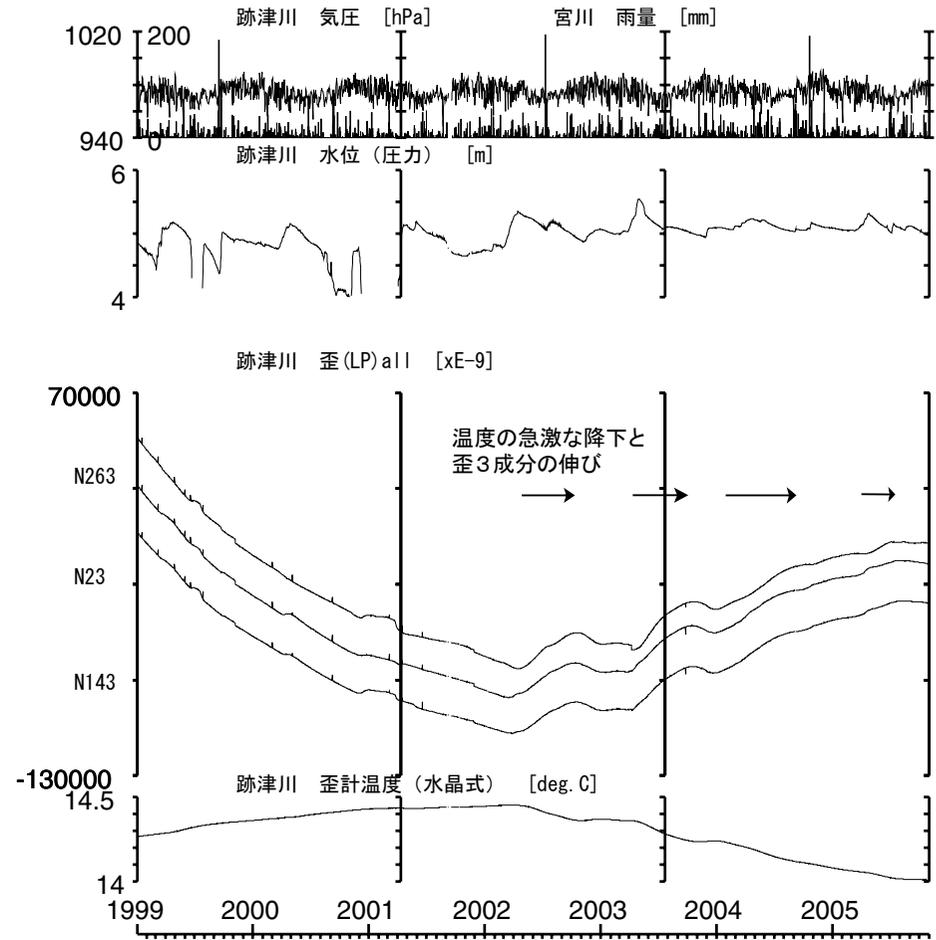
Fig.2 Results of strain meters at Miyagawa (for 6 months).

跡津川歪観測結果（時間値）  
 ( 2005/05/01 00:00 - 2005/11/01 00:00 )



第3図 跡津川における歪観測結果（6カ月間）。2002年4月以後歪み計温度が不安定であり、歪データも不安定となった。  
 Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 6 months).

跡津川歪観測結果（日値）  
 ( 1999/01/01 00:00 - 2005/11/01 00:00 )



第4図 跡津川における歪観測結果（6年と10ヶ月間）  
 Fig.4 Results of strain meters at Atotsugawa (for 6 years and 10 months).